

現在の下京区西部エリアの特徴（市全体の視点から見て）

特性	現状
立地特性 ○京都の玄関口 ・東日本・西日本へのアクセスの良さ ・大阪・神戸へのアクセスの良さ	●住む（居住） ○居住者が増加（西部等） ←アクセス面、都市環境（公園の存在）等
都市機能特性 ○市内有数の都市公園の存在 ○多様な都市機能の共存 ・寺社、都市公園、水族館、博物館、大学、ホテル、居住、商業、オフィス、研究開発、市場 等	●働く（商業） ○業務機能が増加（東部）←アクセス面
空間特性 ○京都の中では大きな空間スケール ○京都らしさと現代の交流	●遊ぶ・楽しむ（観光） ○観光・集客面で注目（西部） ○大型店の立地（東部）
	●学ぶ（学習） ○龍谷大学 ○キャンパスプラザ京都 ○梅小路公園や商店街等での体験プログラム

【参考】本エリアの資源（例）



第 1 回 委 員 会 意 見 交 換

次の論点①・②について、各委員の方から御意見をいただきます。

【論点①】下京区西部エリアが今後、果たすべき役割
～市内全般から見た場合に、当該エリアが果たすべき役割は～

【視点】

●住む（居住）

～「住む」場所として本エリアに期待される役割は？

- ・今、このエリアに住んでいる人にとって、より住みよいまちにするには
- ・このエリアに住みたいと思う人を増やすには

●働く（商業）

～「働く」場所として本エリアに期待される役割は？

- ・今、このエリアで働いている人にとって、より働きやすいまちにするには
- ・このエリアで働きたいと思う人を増やすには

●遊ぶ・楽しむ（観光）

～「遊ぶ」場所として本エリアに期待される役割は？

- ・今、このエリアを観光する人にとって、より楽しく遊べるまちにするには
- ・このエリアで遊びたいと思う人を増やすには

●学ぶ（学習）

～「学ぶ」場所として本エリアに期待される役割は？

- ・今、このエリアで学習、研究する人にとって、より学びやすいまちにするには
- ・このエリアで学びたいと思う人を増やすには

【論点②】下京区西部エリアがめざすべき将来像
～果たすべき役割を踏まえ、本エリアがめざすべき将来像は～

